



週報

入間ロータリークラブ



2018-2019 RI 会長:バリー・ラシン RI2570 地区ガバナー:茂木正 会長:齋藤栄作 幹事:豊田義継

第 19 号 3048 回例会 2018 年 11 月 15 日 (木)

日帰り美術館 上野の森美術館 フェルメール展

<❀ 会長の時間 ❀> 齋藤栄作会長

本日は上野の森美術館で開催されている「最大にして、最も贅沢な。オランダ絵画黄金時代の画家ヨハネス・フェルメール」の作品を皆さんと一緒に見に行きます。35 点の現存する彼の作品の中で 9 作品が上野に集まる日本美術展史上最大のフェルメール展です。そして「ワイングラス」「赤い帽子の娘」「取り持ち女」(1 月 9 日からの展示)の 3 点は初来日です。絵画鑑賞の楽しみは解説よりも皆さま一人一人の感じ方が最優先なのだと思います。

しかしながら、今回私は事前の情報として 2 点に着目しました。フェルメールの活躍した時代背景と国家背景です。フェルメールが生きた国は現在のオランダとベルギーにあたる地域で 17 世紀まで「ネーデルランド」(低地地方)と呼ばれた地で海面より低い土地が多いため穀物の自給が難しく輸入に頼らざるを得なかったため商人が大活躍をしました。商売を通して常に海外とコンタクトを取り続けなければ生きてゆけないという危機感があり、外に向けた動きをする国は当時のヨーロッパでは希少でした。17 世紀はオランダ絵画黄金時代と言われ、寺院に収めるための 1m を超える宗教画や王家の肖像画、歴史画から風俗画に流れが変わり市民の家に飾れるような小さなサイズの絵が描かれるようになった時代背景があります。彼の光の表現とフェルメールブルーを楽しみましょう。





オランダ絵画黄金時代のヨハネス・フェルメール作品9点とハブリエル・メツー、ピーテル・デ・ホーホ、ヤン・ステーンらの絵画と合わせた約50点を通して、17世紀オランダ絵画の広がりや独創性を鑑賞しました。そして、両国の「吉葉」にて美味しいちゃんこ料理と津軽三味で団欒後、秋晴れのロータリー美術館の一日を楽しく終えました。

発行 入間ロータリークラブ

- 事務所：〒358-0023 入間市扇台 3-3-7 ハイツ斎竹 101号 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788
- Email iruma-rc@jupiter.plala.or.jp
- 例会場：丸広百貨店入間店 6Fバンケットホール Tel. 04-2963-1111
- 例会日：木曜日 12:30~13:30 ■会報委員長：水村雅啓

